

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援授業 たんぽぽ				公表日 令和7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		こども達が安全に遊ぶことができるスペースを確保している。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		職員の配置基準を満たしている。基準よりも手厚い支援が行える体制を整えている。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		こども達が生活しやすいように、こども園と同じ環境設定を行っている。また、視覚的に分かりやすいよう絵や文字で提示している。	利用するこども達に合わせて、その都度環境設定を改善していく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		こども達が過ごした場所は毎日清掃し、衛生面に配慮している。また、子どもの様子や活動内容によって過ごしやすい空間を設定している。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		その日の子どもの様子に応じて、個別で過ごせる空間を準備している。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		職員で毎日ミーティングを行い、業務の振り返りや検討を行っている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		評価表の内容を確認し、保護者の意向を共通理解している。また、改善に向けて検討や取り組みを行っている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		日々のミーティングの中で、話し合う時間を設け、意見を出し合い改善に努めている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		第三者委員会を設けています。保護者からの評価も含め、改善に努める。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		専門性を高めることができるよう、外部研修に積極的に参加している。また、園内においても研修を定期的に行っている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1	今年度はたんぽぽの教室内に掲示している。	令和7年度はホームページに掲載する予定。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		保護者と話をする時間を確保している。その後、ニーズや課題を分析して児童発達支援計画書を作成している。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		たんぽぽの職員だけでなく、こども園のクラス担任を交えた会議の期間確保し検討した上で児童発達支援計画書を作成している。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		計画に沿った支援ができるよう、日々のミーティングで振り返りを行っている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	2	現在は、日々の記録などのインフォーマルなアセスメントを行っている。	標準化されたアセスメントツールについて検討をする。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		子どもの支援に必要な項目の5領域を取り入れ、具体的な支援内容になっている。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		子どもの発達段階を職員と確認しながらプログラムを作成している。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		その日の子どもの状況に応じた内容で支援を行っている。		

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		子どもの状況に応じて支援ができるように、保護者と十分に話をしたうえで取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		前日に必ずミーティングを行い打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援終了後に必ずミーティングを行い、その日の振り返りや情報共有、次の日の取り組みなどを共通理解している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		日々記録を取っている。また、必要に応じて支援の検証し改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		たんぽぽの職員、こども園のクラス担任と一緒にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児童発達支援管理責任者が主に参加している。こども園の職員も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		連携して支援を行う体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		こども園の中にある児童発達の為、十分に情報共有と相互の理解ができている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	就学先との連携はこども園を中心に行っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3		必要な応じて、地域の児童発達支援センターと連携を図っている。	今後も、スーパーバイズや助言を受ける機会を設けるよう努める。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3		こども園の中の児童発達のため、日々の生活の中で一緒に過ごすことができている。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時や連絡帳などで、保護者に子どもの様子を知らせていきながら情報共有を行っている。	
保	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	必要に応じて個別に面談をし、助言を行っている。	今後は、家族の対応力の向上が図れるよう、研修の機会や情報提供を行います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に行っている。また、変更があったときなど必要に応じて行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		子どもの姿を保護者と確認いたうえで、保護者と話し合い児童発達支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		児童発達支援計画の支援内容の説明を十分に行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		いつでも相談ができるようにしている。送迎時や連絡帳で気になることがあったときには、こちらから声かけを行い面談の機会を作っている。	今後は、定期的な相談会などの機会を設けるようとする。

↑ 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	こども園の中で十分に行われている。	必要に応じて、保護者同士、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の検討を行う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		相談の申し込みがあったときには、すぐに対応できるよう調整している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	たんぽぽ通信で活動の様子を知らせている。	来年度は月に1回通信を発行し、活動の様子や取り組み等情報を発信できるよう努める。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		利用児の個人情報については、1ヶ所に書類を整理し鍵のついた書庫で保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		連絡帳や電話なども使い情報の伝達の配慮を行っている。保護者からの発信がない場合も、こちらから積極的にコミュニケーションを取るよう心がけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		こども園とともに十分に行われている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルにおいて、必要に応じて教職員や家族に周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		こども園と一緒に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		契約時に確認し、職員で周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	常に対応ができるよう努めている。（現在、給食の意提供をしていない）	給食の提供はしていないが、常に対応ができるように努める。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		こども園で行う安全管理に必要な研修や訓練に参加している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		こども園の安全計画をベースに、家族と連携が図れるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		日々のミーティングの中でも報告を行い、情報や対応を共有し再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		園内研修を行うとともに、外部研修の参加も積極的に行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		児童発達支援計画の説明を十分に行い必要に応じて記載している。	